

これまでに用手補助腹腔鏡下脾臓摘出＋左胃動静脈離断術を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

福岡市民病院肝臓外科では「内科的治療抵抗性胃食道静脈瘤に対して用手補助腹腔鏡下脾臓摘出＋左胃動静脈離断術を施行した症例に関する検討」という内容の臨床研究を行っております。この研究は、これまで行ってきたHassab手術に関してより低侵襲の手技で十分な有効性と安全性が得られることを後方視的に検討することが目的です。そのため、過去に用手補助腹腔鏡下脾臓摘出＋左胃動静脈離断術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は福岡市民病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：2023年6月1日～2025年3月31日まで

対象調査期間：2014年4月1日～2023年6月1日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さんのカルテ、CT画像です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は福岡市民病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、福岡市民病院外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

福岡市民病院 肝臓外科

研究責任者：武石 一樹

TEL：092-632-1403(代) FAX：092-632-0900(代)